

夢咲かせよう 立志の丘で

平成26年4月18日
No.2

「学び合い」と「キャリア教育」

今年度、本校の教育の大きな柱として「学び合い」と「キャリア教育」を基本に据えて、学校教育を推進していきます。

本校は、平成24年度、25年度と2年間にわたり、西仙北小学校との小中連携を図りながら、「確かな学力の育成に係る実践的調査研究校」（文部科学省指定委託）として研究を進めてきました。今年度は、美術（教育課程）教科で、更に研究指定を受けています。

この過去2年間の研究では「学び合い」を中心に授業改善に努めて参りました。今年度も、「学び合い 支え合い 高め合い」を学校教育目標とし、その達成のために、西仙北小学校と連携を図り推進していく所存です。

それでは、「学び合い」について、簡単にお知らせします。

授業の中で、課題が与えられ、それを解決するときに、友達に「分からないから教えて」というのが「学び合い」です。従来の授業では、先生が問題や課題を出して、それを一つずつ解明したり、先生の質問に分かる人が答えたりしながら授業が進められてきました。これを私たちは「一斉式の授業」と呼んでいます。この授業だと、学級の中で、分かる人だけで授業が進んでいく傾向があります。「学び合い」の授業をするためには、問題提示、あるいは課題提示をするときに、課題解決型の問題・課題を提示する必要があります。それを、最初は全員で少しの間考えます。それは、どんな問題で、どんなところが分からないかを確認するためです。そして、4人のグループになります。そのグループの中で、分からない人が、他の人にもどのようにしているのかを問います。4人全員が分からない場合もあります。誰かが気がつく場合もあります。様々な状況がそこで生まれてきます。そして、みんなで考えついたこと、分かったこと、予想を立てて「〇〇なのではないか」ということを一人一人がもった段階で、一斉に戻り、それらのことを発表し合います。

新しい知識というのは、人から教えられて、あんなるほど、と思っただけでは、自分で使おうとするときに、あれ？どういうことだっけ？ということに陥りやすいです。まずは、自分でその問題を見て、自分がどこが分からないか、自分の身体の中に一回通してみる。このことによって、もしその問題を理解したのであれば、その知識は知恵と変わり、次に自分がやろうとするときに難なく使うことができます。知識というのは、他との関わりの中で初めて理解、定着される、ということなのです。

このような授業を進めるために、9教科すべての先生が課題解決型の授業にシフトを変えつつあります。ですから、生徒の皆さんは、まずは「分からない、ここが分からない」と隣の生徒、向かいの生徒、斜め向かいの生徒に言えるようになることです。

次に、「キャリア教育」について説明します。「キャリア」と聞くと一般的には「キャリア組」「ノンキャリア組」のように、経歴（学歴）によって分けられるときに使うことが多いです。ところが、この「キャリア教育」の「キャリア」というのは、次のような意味です。

人は、他者や社会との関わりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きている。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものである。また、このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもあるが、人はこれらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取捨選択や創造を重ねながら取り組んでいる。

人は、このような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会に関わることになり、その関わり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものである。

このように、人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」の意味するところである。

（中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）（平成）23年1月31日）

上の意味する「キャリア教育」を推進するために、学級活動の進路の時間を核とします。学級活動は、年間35時間あり、「自己理解」「進路計画」「働くこと」「職業と産業」「上級学校」などについて学習します。更に、各教科の中で、4つの能力－人間関係形成・社会形成能力（自分や他人を理解すること、人とどうすればうまくつきあうことができるか等）、自己理解・自己管理能力（自分とはいったいどういうものか、どうすれば毎日の生活の中で自分をコントロールできるか等）、課題対応能力（目の前にある問題・課題をどのようにして解決していくのか等）、キャリアプランニング能力（いろいろな情報を取捨選択し、自分のなりた職業につくためにはどうすればよいのか等）－を育成していきます。

これらの力の育成のため学級活動と教科の時間を大切にしながら、本校では各学年で次の行事を

行います。

○1年生

白神宿泊体験(7月6～7日)

職場体験(9月2日)

綱よい学習

○2年生

職場体験(7月16～18日)

盛岡自主研修(11月7日)

沖縄修学旅行(3月中旬)

○3年生

大学訪問(7月2日)

高校体験入学(個別に対応)

田沢湖宿泊体験(9月1～2日)

進路集会

私立・公立高校前期選抜(1月28日)

公立高校一般選抜(3月5日)

今年も「世界一のひまわり」開花

4月11日(金)、全校生徒198人の手により「ひまわり」が開花しました。遠くから見るとすばらしいできばえです。10月末まで楽しんでください。



全校朝集会 始まる

今年度初めての生徒会執行部による全校朝集会が、4月15日(火)多目的ホールで8時15分から開催されました。

1年生2学級、2年生2学級、3年生3学級から代表が、前に出て、「今年度がんばりたいこと」について自分の考えを述べてくれましたので紹介します。



◇3年生

A組 本間紗斗 さん

僕ががんばりたいことは部活動です。僕たちの部は新人戦に負けてから変わることができました。前までは、ちょっと点数が離されてしまうとあき

らめてしまう気持ちの弱いチームでした。でも、負けてからどんなに点差が開いてもあきらめずに向かっていく気持ちの強いチームに変わりました。3年生は、部活動のできる日が残りが少ないので、一日一日を全力で活動していきたいです。

B組 加藤健斗 さん

僕の今年の目標は、3年生として最後の一年間を楽しむことです。僕は3Bになってみんなおもしろい人たちだったし、どんな思い出ができるか楽しみです。さらに自分をもっと盛り上げて楽しいクラスにすればよいと思っています。3Bの皆さんよろしくお願いします。

C組 加藤宇飛 さん

3年生になって、今年は受験生になるので、勉強を努力すればいいと思います。部活なども残り少ないので悔いのないように楽しくやっていきたいです。

◇2年生

A組 金子雄輝 さん

今年の目標は、テストの点数を維持することです。1年生の時の学習を振り返りながら改善し、今の力を維持することです。部活動では、今年もコンクールの県大会で金賞を取りたいです。そのために、普段からの練習をしっかりとやって、1年生にも教えてよい演奏をしたいです。

B組 後藤大典 さん

僕の一年間の目標は、勉強と部活動のどちらもがんばることです。勉強は、2年生が3年間で一番大事な時期だと聞いているので、学校の勉強だけでなく、家での予習・復習もしっかりやりたいです。部活動は、もうすぐ春季大会もあるし、それが終わると郡総体なので、一日一日の活動をしっかり行きたいです。

◇1年生

A組 佐藤瀬奈 さん

私の今年の目標は、勉強と部活動の両立です。なぜかという勉強は今までより難しくなるし、部活動が始まって時間が制限され、今までよりハードな練習になると思うからです。両立するために、時間を大切にして目標が達成できるようにがんばりたいです。

B組 鈴木紫苑 さん

私の今年の目標は勉強面をがんばることです。学び合いを通して勉強の理解を深めつつ、友達との絆を深めつつ、クラス全体の学習を深めていきたいです。また、1年生として中学生らしい判断をして生活できるよう心がけたいです。

その後、感想発表が各学年からありました。皆さんの発表を聞いて、自分も目標をもってこの一年間をがんばりたい、という感想でした。

最後に、校歌を歌いました。1年生はまだ入学してから間もないので、校歌の歌詞は分かりませんでした。ところが、ところどころを歌う姿勢に感激しました。